

# 教育ニュース「響学 共動」 No. 2

今週の児童川柳

ビオトープ 春の花々 咲き揃い (6年生)

平成 22 年 4 月 19 日

広島市立吉島小学校

休憩時間、春の日ざしをあびた校庭は、多くの子どもたちの笑顔と元気、歓声で一段と明るさを増しています。そんな校庭に立つ月桂樹のそばに石碑があります。その碑には、「ひとを大切に ものを大切に 時間を大切に」という文字が刻まれています。校庭で子どもたちの群れ遊びのようすをみますとき、この石碑に、「群れ(集団)遊びを大切に」という文字を加えたい思いを強くします。群れ遊びは、創意工夫する、協調して人とかかわるなどの力が育まれるといわれています。群れ遊びは、本校の子ども像にかかげる「よく遊ぶ子 思いやりのある子」の土壌を耕す貴い学びの場なのです。まさに遊学・響学の時間なのです。今年も、「みんなで遊ぶ時間(日)」を設けて、楽しい時間を共有していきます。

## 生活の自立化へ進行し始めた子どもたち ~1年生~

「いただきます」元気のよいあいさつが教室から聞こえてきます。15日に始まった給食の当日のメニューは、牛乳とポテトサラダなど。

教室の中に入ると、1年生が、楽しそうに、しかも肘をつくことなく食事のマナーを守り、牛乳もよく嘸んで飲んでいきます。「給食の味はどうか」と問うてみると、笑顔で全員から「おいしいよ」と声がかえってきました。給食終了後の残食率はほぼ0%。後かたづけをきちんと終え、「ごちそうさまでした」と感謝の心を発信する1年生に感動したひと時でした。



翌日、校内巡回で再び教室の様子をみますと、先生の「よい姿勢で本を読みましょう」の声に、背筋がぴーとのび一生懸命に音読する1年生の姿が。音読は、集中力とともに、語彙や語句についての意識化が始まりこだわり感(興味)も高められるといわれています。また先生からの質問に、「はい」と声を発し、友達の方をみて「ぼくは〇〇だと思います。みなさんどうですか」と自分の思いや考えを発信する1年生。伝え合う力の土壌も耕し始めました。入学して1週間後の教室のできごととは思えない1年生の姿に、唯々感動し、喜びとともに、潜在的な可能性を伸長させなくてはと気が引き締まるひと時でした。

## みんなで「わかる」ことの喜びを享受する子どもたち ~6年生~

昨今、教育関係の書物に「ピア学習や共同学習のよさを大切に」という言葉をよくみかけます。これは、学校だからこそ体験できる集団学習の「多様さに気づく、学び深めること」の充実性を強調したものです。子どもたちは誰も皆、学習者であると共に学びを深める師でもあります。

6年生の声が教室から聞こえてきました。算数の時間です。考えたことや導き出した結論(自分なりの解)を友達につなぎ合う6年生。つまりいて問題解決が止まっている友達に、「教科書のなかで似たような問題を探してみたら、次にすすめようだよ」とヒントを与える6年生。「そうか、なるほどね」と解決の視点を明確にし始めた6年生。お互いの中に「みんなで分かること」を志向したかかわりの関係が生まれ、その雰囲気はほのぼのとして授業参観している者もとても心地よい。感激し涙腺もゆるむひと時でした。

また、最高学年であるという意識が行動に顕著に現れ始めていて、頼もしさが増している6年生。黙々と時間いっぱい掃除を行う6年生。1年生の学校生活を温かいまなざしでサポートする6年生、委員会活動も始まり校内放送や当番活動に励むなど6年生の姿に、「ありがとう!!!」と感謝とともに、人としての成長を加速化し始めた6年生に、「この調子」とエールを送る毎日です。